

Minami Kyushu University Junior college Syllabus

シラバス年度	2024年度	開講キャンパス	宮崎キャンパス	開設学科	国際教養学科				
科目名称	特別演習 I					授業形態	講義・演習		
科目コード	590144	単位数	2単位	配当学年	1	実務経験教員	○	アクティブラーニング	○
担当教員名	各コース教員							ICT活用	○
授業概要	<p>短期大学に入学したばかりの学生は、高校との違いにとまどうことが多い。中には入学を機に一人暮らしを始める学生もあり、また、授業の履修方法一つをとっても、すべて自分自身で考えて解決していかなければならない。学生生活は高校までの生活と比べて自由である反面、そのことがかえって負担となる場合もある。そこで、本科目では、そのような悩みをかかえる新入生に対し、快適な学生生活を送れるよう支援を行う。学内外の講師によるさまざまな内容の講座を提供することにより、各自が学生生活やその後の社会人生活に対して具体的な展望が持てるよう支援する。それに加えて、授業全体を通じ、オンライン授業やオンデマンド授業の受講のしかたおよび Universal Passport を利用した課題の提出方法等の習得も目指す。あわせて、現代情報社会における本学園での学びの方向性と具体的な事例について紹介し、現在進行中の社会変化に対応するための力を養成する。</p> <p>また、①建学の精神やディプロマ・ポリシーの理解、②社会人としての教養の養成、③教員との交流によるコミュニケーション能力の向上等も図る。</p>								
関連する科目	特別演習 II								
授業の進め方と方法	<p>講義と演習を織り交ぜて全15回の授業を構成する。課題や発表、レポート等を課すことにより、受講者の理解度を確認する。各回の講師は、受講者からの質問を随時受け付ける。</p> <p>なお、オンデマンド授業（第2回「南九州大学入門2 学部学科について理解を深めよう」）については、4月12日（金）～5月29日（水）の動画配信期間内に視聴の上、各授業動画ごとに用意した課題を提出させる。</p>								
授業計画【第1回】	<p>南九州大学入門Ⅰ：南九州大学について理解を深めよう（中瀬昌之学長） 大学概要、建学の精神、教育理念、アドミッション・ポリシー、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、情報社会の変化（society5.0、第4次産業革命等）と本学の学び ※ オンライン授業</p>								
授業計画【第2回】	<p>南九州大学入門Ⅱ：学部学科について理解を深めよう 各学部・短期大学部紹介（各学部長／各学科長） 学部学科紹介、研究事例（データ・AI活用における研究動向）紹介 ※ オンデマンド授業（各30分程度×4）、視聴後に各資料毎にレポートを提出</p>								
授業計画【第3回】	短大で学ぶとは（各コース・アドバイザー教員）								
授業計画【第4回】	就職準備セミナー（就職課） スタートアップ講座								
授業計画【第5回】	1・2年生の交流会（各コース・アドバイザー教員）								
授業計画【第6回】	メンタルヘルス：こころとからだ（本学カウンセラー） メンタルヘルスの基礎知識を学び、本学のサポート体制を理解して学生相談室について知る。自分のこころとからだのメンテナンスについて考える。								
授業計画【第7回】	多様な人々とともに生きる共生社会Ⅰ（子ども教育学科特別支援教育担当教員） 発達障害・その他の障がいを持つ人について理解を深め、本学での合理的配慮への体制について知る。								
授業計画【第8回】	多様な人々とともに生きる共生社会Ⅱ（宮崎県男女共同参画地域推進員：足立佳代氏） セクシャルマイノリティについて知り、自分とは違う誰かを思いやり、理解して行動することを学ぶ。								
授業計画【第9回】	リテラシーの基礎を身につけようⅠ（宮崎県警察本部サイバー犯罪対策課） SNSなどを利用したサイバー犯罪について知り、情報モラルについて考える。								
授業計画【第10回】	リテラシーの基礎を身につけようⅡ（本学園図書館職員） 図書館のツールを利用して実際に情報検索を行い、情報検索・情報利用について学ぶ。本学園の図書館の利用方法、情報検索の重要性について理解する。								
授業計画【第11回】	ジェネリックスキル：自分の強みを知る（学務部） 4月に受けたPROGテストの解説を通じ、ジェネリックスキルとは何かを学び、自分の現状を知る。								
授業計画【第12回】	カリキュラムをデザインする（各コース・アドバイザー教員）								

授業計画【第13回】	研究倫理教育（各コース・アドバイザー教員） 研究倫理eラーニング（『科学の健全な発展のために-誠実な科学者の心得-』）の受講を通じ、短期大学生として学ぶ上で重要なことを知る。
授業計画【第14回】	現代社会が求める基礎能力（各コース・アドバイザー教員）
授業計画【第15回】	教養講座（招聘講師）
授業の到達目標	① 南九州大学の歴史、教育理念、教育目的、教育・研究内容を理解する。【知識・理解】 ② 高校と大学の違いを理解し、自律的な学修習慣・マナー・自己管理能力が身につく。【態度・志向性】 ③ 本学園におけるデータ活用事例を理解し、情報リテラシーの基礎が身につく。【汎用性技能】 ④ 相手の立場に立って自分の考えを述べ、積極的な姿勢で相手の話を聴くことができる。【態度・志向性】 ⑤ 多様な背景を持つ人とコミュニケーションをはかることができる。【態度・志向性】 ⑥ 将来あるべき姿を思い描き、それに向けて一歩ずつ努力して前進し続けることができる。【態度・志向性】 ⑦ 職業を通じて社会に貢献する方法を考え、実践に向けて取り組むことができる。【態度・志向性】
学修成果との関連	1. 自ら考える能力を有する。／2. 自分の言葉で表現できる能力を有する。／3. 現代社会に関する基本的知識を有する。／4. 多文化・異文化に関する基本的知識を有する。／5. 地域社会に貢献する意欲を有する。／6. 地域社会への貢献に必要な知識・技能を有する。
授業時間外学習【予習】	(2時間程度) ・ 毎回授業を受講する前に授業のテーマを確認し、そのテーマやキーワードについて調べておくこと。 ・ コース・アドバイザーの授業に関しては、担当教員の指示に従うこと。
授業時間外学習【復習】	(2時間程度) ・ 各回受講後にレポートを作成する。 ・ 授業で学んだ内容を振りかえり、要点を整理しておくこと。 ・ 理解が不十分であった部分は、各回の担当教員に質問し、疑問を解消しておくこと。
課題に対するフィードバック	フィードバックは、各回の担当教員が受講した学生に対して与える。
評価方法・基準	① 提出レポート（全10回+就職準備セミナー+研究倫理教育を含む）： 60% ② 積極的な授業態度： 10% ③ コース別活動での課題・発表（全4回）： 30%
テキスト	随時プリントを配布する。なお、オンデマンド授業の資料については、Universal Passportにて配布する。
参考書	随時、授業で紹介する。
備考	